

意見書案第 2 号

統計不正問題の徹底解明を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成31年3月13日

福岡市議会

議長 川上晋平様

提出者 福岡市議会議員

森 あや子

近藤 里美

熊谷 敦子

田中 しんすけ

倉元 達朗

統計不正問題の徹底解明を求める意見書

厚生労働省の毎月勤労統計調査などをめぐる不正が国政上の大問題となっています。とりわけ究明が急がれるのは、2004年から続いていた毎月勤労統計調査の不正において、2018年1月から密かに「データ補正」が行われ、組織的隠蔽が図られた可能性がある問題についてです。

厚生労働省が設置した特別監察委員会の報告書では、「組織的隠蔽」を否定するばかりで動機や背景には迫っておらず、更なる真相の解明と責任の明確化なしには再発を防止できないことは明らかです。

統計は国の基本であり、国民のものです。戦時中に国家機密として統計の真実を隠し、合理的な判断ができずに戦争で多大な犠牲を生んだ反省から、戦後は真実性の確保が重視されてきました。その信頼が失われれば国を誤ることになります。

よって、福岡市議会は、国会及び政府が、2018年1月当時の厚生労働大臣の国会招致なども含め、統計不正問題を徹底解明するために必要な対策を講ぜられるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成 年 月 日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、
厚生労働大臣 宛て

議 長 名